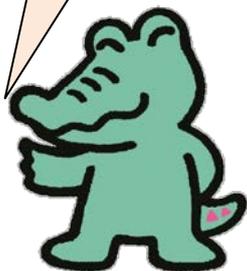


# 本山前桜公園

# 中低木剪定講習会

平成 28 年 6 月 16 日 10 時～12 時 実施

剪定を  
すると、木が喜  
ぶね！



剪定とは、樹木の形を整えることで景観と見通しをよくすると、花芽の発芽を促し翌年以降の花つきをよくすることを目的とし、樹木の成長や管理の意味で重要な作業になります。剪定には「刈り込みバサミ」と「剪定バサミ」を使用します。中低木講習会では刈り込みバサミなどで一律に樹木全体を切りそろえる「刈り込み作業」を始めに行い、不要な枝や幹を切り葉のある細い枝を残すなどの「剪定作業」を行う講習をしました。



刈り込みバサミと剪定バサミを装着し講習会を始めます



不要な枝や幹を選んで切ります。このことを剪定作業といいます。切り戻し作業では、鋭利に切られている枝を手作業で尖ったところを切り落とします

切り戻しは切り枝が尖ってなくて安全だね



使った道具の手入れ（研ぎ方）講習を参加者のみなさんが熱心に受講していました。「道具は使ったらすぐに手入れをしてください。樹液などが、ついたままにして手入れをしないと！すぐに切れ味が悪くなります。」という言葉に参加者は、身を乗り出して聞き入っていました。

## 剪定をすることで、新芽が芽吹く様になります



切るだけではなく形も大事だね。

### ポイント 時々離れて樹形を確認しよう

刈り込みをしていると、目の前の枝に集中してしまい、気が付くと思ったよりも切りすぎていたということもあります。時々樹木から離れて、全体の樹形を確認しましょう。

### ポイント 刈り込みバサミの置き方

ハサミを地面に置く時は、裏面の状態で置くようにします。一般の利用者が近くを通ることもあるので、刃の部分は、草やベンチの下に隠すようにするとより安全です。



発行元 横浜市鶴見土木事務所

TEL 045-510-1673 2016.09.05